

『月刊たまログ』 介護相談

2018年11月 掲載

シニア連載

第14回

遠くの親戚より
見知らぬ他人!?



叔母（76歳・要支援2）が軽度の認知症と診断されて1年ほど経ちます。病気の進行が遅く、特に問題なく一人暮らしが出来ていましたが、先日、久しぶりに叔母を訪ねるとゴミだらけで散らかり放題、その上見知らぬ老人が同居していました。どうすれば良いでしょうか？



見知らぬ老人との同居はさぞ驚かれたことでしょう。最近、高齢者ばかりの団地などでは時折あるようです。独居高齢者が多く、不安と寂しさを拭い去るために、お隣の家の高齢者に「お茶でもどうぞ」がきっかけで、暫くすると住み着いてしまい、まるで家族のように暮らしていて、離れて暮らす本当の家族は後から状況を知り大慌てに……。

一つの考え方として
高齢者のシェアハウ

ス」と捉え、単身高齢者同士が互いを助け合いながら暮らすことで、「安否確認」が成立するのでしたら、遠方に住む家族としてはご不安が軽減されるのではないのでしょうか。ただし、叔母様の認知症が重度になった時に、「同居人のご老人」とのトラブルが発生する可能性もあります。この機会に有料老人ホームやサ高住、または公的施設へのご入居を検討されてはいかがでしょうか。もし、お二人で隣同士の部屋で暮らせることができれば、お二人にとっては幸せかもしれません。

介護連載プロフィール

有料老人ホーム・介護情報館 館長
取締役 **今井紀子**

病院の相談員、有料老人ホーム施設長、老人保健施設事務長などを経て、現在は有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等のアドバイザー。セミナー・講演を各地にて多数開催、『自立型ホームはこう選ぶ!』大好評!



介護情報館 活動報告



梶ヶ谷 介護職員審査研修

ご入居者に
愛される職員



緑園地区消費生活セミナー

消費生活・啓発講座 『高齢期の住まい選びと基礎知識』



老後と住まいのアドバイザー
（株）ニュー・ライフ・フロンティア

有料老人ホーム・介護情報館

〒103-0027 中央区日本橋1-7-9 ダヴィンチ日本橋179ビル4F



高齢者住宅の最新情報を発信!

介護情報館は、2017年7月1日より入居者と家族の両方の高いホームをご紹介しております。



TEL 03-6262-0791